

# 労組掲示板

掲示期間

12/1(木)~12/14(水)

2016年11月30日発行/No.130

ユーコープ労働組合書記局 神奈川県横浜市中区太田町6-84-2 TEL 045-319-4891 FAX 045-319-4893



秋闘第3回団体交渉(横浜市従会館)

2016年秋闘交渉が終わりました。団体交渉には3回合わせて225人が参加。11月26日の第3回団交には84人が参加しました。労働組合は、第3回団交の直前に第1回中央委員会を開催し、最終交渉方針を満場一致で採択しました。

## 2016 秋闘交渉が終わりました

## 処遇改善・制度改善で前進 宅配の直雇用比率を高める



103人が参加した中央委員会

### 第3回団交のおもな内容

#### ■ 宅配の高すぎる委託比率の是正

【労組】ユーコープは委託比率が極めて高い。直雇用比率を高めることを求める。【理事会】直雇用比率を高めていく意思を持っている。

#### ■ 店舗正規職員の不払い労働根絶

【労組】追加施策や、取り締まりをしても変わらないのは、部長が見て見ぬふりをしているからだ。若手はこのままついていけるのか不安がある。店舗職員の不払い労働を正常化させることがユーコープの社会貢献だ。【理事会】不払い労働根絶の取り組みはこの20~30年やってきたが、現場に甘え、人件費がかさむという不安からラインで徹底できなかった。コープ水産も同様だ。36協定遵守ばかりが優先され、不払い労働を隠すことになった。36協定をこえても働いた分はつけることを再徹底し、その上で業務改善に取り組む。不払い労働根絶・長時間労働改善のスタートラインの宣言としたい。労使で一緒に取り組んで、価値観を一致させ進めていきたい。

#### ■ 店舗事業改革

【労組】現時点での説明を聞きたい。【理事会】店舗の供給は最盛期の半分になり、時代に置きざりにされてきた。理事会の責任だ。これ以上閉店せずにすむよう供給規模に見合って売り場はダウンサイジングし、空いたスペースにテナントや交流の場を作っていけたらと思っている。そのなかで店舗を地域の拠点にできないか、未来にむかってパラダイムシフトしていく。まず、ちづか店は3年くらいかけて進め、黒字がみえてくれば、3県で計画的に改装などをしたい。現場の職員にも参加してもらおう。労組にもお知らせしていきたい。

#### ■ 本部人員削減

【労組】不信感と疲労感が一杯。次は私かな？と感じたりする。これ以上減った場合、誰がやるのか不安。【理事会】本部経費削減は各事業所の経常剰余を黒字化するために必要。他生協の本部比率と比較してもユーコープは低くない。本部のスリム化は必要である。【労組】本部長の説明では、本部職員の不安や懸念は払拭できない。40名の削減先を明確にしてほしい。人員削減が部課長の目標数値になっているのではないのか。コミュニケーション不足で、中計の説明が不足している。不安や不信感を抱かせたまま仕事をするのは、組織にとってマイナスではないのか。【理事会】コミュニケーション不足であれば、きちんと受け止めて、素直に反省しなければいけない。「本部のあり方検討タスク」で、現場で持つべき権限や要員計画等検討を開始、検討状況を発信する。異動する方への教育研修は充分に行う。

### 処遇改善・制度改善要求での前進点

#### ■ 福祉専任職員冬季一時金で再回答(11/26)『0.55カ月+2万円』⇒『0.7カ月+2万円』

\* 一般アルバイト職員に職種時給を加給(2017年3/21~)。週3日の一般アルバイトは一般パート職員契約とする(2017年6/21~) \* シニアアルバイト職員に時間手当・日祝日手当を加給(2017年6月21日~) \* シニアアルバイト・一般アルバイトの受診希望者全員が定期健診を受診できるよう全員の問診票を配付する等運用改善(2017年度~) \* 社会保険適用パートの家族手当支給等について検討をすすめる。 \* 片道30km以上の遠距離通勤者への手当割増要求について理事会は、手当割増しも含めて検討し、来年度上期までに提示する。 \* 正規職員定年延長について2017年度上期から検討を開始する。 \* 個人負担廃止含め、借り上げ住宅使用料や単身赴任手当等の検討を進める。